

（一面より續く）
の味方であつて而も常軌を逸しない所に氏の人格を閃きと偉大さがある。
川内郵便局長

佐久間長造氏

氏は故佐久間長助翁の息で、大正十五年同村の局長の榮職に付き村會議員として圓滿なる人格、徳備へ、職に當つて熱がかり同村財政相互の福利増進に勵んでゐる、左記は舊平藩儒官神林弼先生が故長助翁に贈りたる詩である。

前峰倒影碧峰明
犬鷄何處啼爲喧
知是武陵源不遠
落花流水邊村
川内小學校長

山田純氏

校長山田純氏は温厚篤實の教育者タイプの人で石橋を鐵槌でたゞいて渡る式のやり方が時として新進の村民に物足りない感じを與へる事もあるらしいが、氏は同校に入るや一意専心教授に努力しこれが自己の使命であると言はれてゐる。年輩から推して圖熱最盛期と云ふ處で何をさせても心配はないといふ人。

若松美雄氏

氏は若年なれど平和親睦を旨として村發展繁榮の爲めに一生懸命で人の爲めなら水も辭せずしかも才氣溢測として進取の氣性に富み所謂快刀亂魔式の手腕にキビくとした事務の處理振

りは實に氣持好い。
在郷軍人分會長
青年紳士の高評ある同氏は新進氣鋭に富み將來何事か成されんとする理想あり抱負あり思慮あり識見ありつて所謂紳士タイプが氏をして人に好かれる体の人物に構成されたかも知れぬが今同村の在郷軍人分會長改選に承諾の有無に拘はらず同氏を推薦されたが補充兵としての在郷軍人分會長は全國に川内村の同氏が最初のレコードである。

河原武氏

お茶
平町スポーツ奨勵の本部だけあつて七十七銀行内のスポーツ熱は盛んなもので毎日の様に野球、撞球、ピンボンの對抗試合をし居り殊にアマチヤ俱樂部連の撞球熱は可成り激しいがその試合評にはナンバーワンが支店長山田勇太郎氏それから辯護士の千葉彦治氏その次は大谷時計病院長武雄氏以下萩原申八駒場四郎、日東商會の長島菊苗、蓮沼新副社長銘酒白馬之雪の主人松本徳一諸氏の順だが何れも皆俺が俺がさういふはれてゐるので去る一日午後五時より決戦……することに決す、同銀行樓上に於て競技會を開き本社高木主幹審判の許に大試合が演ぜられた結果

- | | |
|---|-------|
| 一 | 山田勇太郎 |
| 二 | 大谷武雄 |
| 三 | 千葉彦治 |
| 四 | 萩原申八 |
| 五 | 萩原申八 |

トーナメント戦
二 駒場四郎
三 千葉彦治
四 松本徳一の缺席
は残念であつた。
(荷香生)

謹告

近來平町に不徳の醫者が少くありません我がいはき新報社は次號より醫事公論部を特設し充分なる調査を遂げ皆さんのため特に優秀なる病醫院を御紹介致します
いはき新報特設
醫事公論部

皆様の心地よい
旅館は
龜屋
旅館
是非一度は御立寄りを
双葉郡下川内村

梅	淋病 婦人病 皮膚病
壽	十二指 腸虫病

院醫村松町南平

家具漆器類
特別大勉強
和久井屋
平町一丁目
電話四〇五番

十六日より八日間
尖端的大余興と名畫
……(全週の番組)……
1 六時三〇分
日光の圓藏
市川右太衛門鈴木澄子主演

2 全七時五〇分
大都會
爆發篇
鈴木傳明 田中絹代主演
3 九時一〇分
かつら
永井寛二郎櫻井京子主演
4 一〇時四〇分
實演余興
谷口
ホイスラ一行
料金普通
平館

計時は秋山
優良なる機械で
安く殊に學生は
原價
提供
秋山時計店
平町有聲座向
計時指眼鏡
計時輪鏡

急告
移轉開業
十月十五日ヨリ
元鈴木はき物店跡
福助足袋代理店
横山彰介商店
電話九十四番

夜具ふとんの
御用意は
製具蒲團綿卸問屋 本間金太郎商店
平町南町 電話二六九番
工場 平町大町十二番地

正確體溫器
寒暖計
関内藥局
電話四〇番

平町田町 電話五二三番
高久病院
醫學士 高久
新海醫學士 赤高
藥劑士 佐竹
外科 花柳病科
小兒科 菊
耳鼻喉科 レントゲン科
雄清忠院

熱田齒科醫院
平町四丁目(新郵便局通り)
院長 熱田 留

藤沼醫院
内科・小兒科・花柳病科
入院 隨意
平町紺屋町
電話五〇七番

和洋銅鐵金物問屋
餘久齋
平五丁目 電話九九番
九九番